

環境経済政策学会 2018 年大会プログラム

日程：9月8日（土） ～ 9月9日（日）

場所：上智大学 2号館4階

9月8日（土）

時間	内容・会場
9：00～	受付開始【2号館4階ラウンジ】
9：30～11：00	午前（1）【2号館4階402, 403, 408, 409, 410, 414, 415】
11：00～13：00	ポスター報告【2号館4階ラウンジ】
12：00～13：00	昼食【2号館5階の Subway, 12号館地下のセブンイレブン, 近隣のレストラン】 理事会【2号館4階415】
13：00～13：45	総会【2号館4階401】
14：00～16：00	午後（1）【2号館4階402, 403, 408, 409, 410, 414, 415】
16：15～17：45	基調講演【2号館4階401】
18：30～	懇親会【学外の主婦会館プラザエフ（〒102-0085 東京都千代田区六番町15）】

9月9日（日）

時間	内容・会場
9：30～11：30	午前（1）【2号館4階402, 403, 408, 409, 410, 414, 415】
11：30～12：30	昼食【12号館地下のセブンイレブン, 近隣のレストラン】 理事会【2号館4階415】
12：30～13：25	会長講演、授賞式【2号館4階401】
13：35～15：35	午後（1）【2号館4階402, 403, 408, 409, 410, 414, 415】
15：45～17：45	午後（2）【2号館4階402, 403, 408, 409, 410, 414, 415】

会場

A	402
B	403
C	408
D	409
E	410
F	414
G	415

会場	9月8日 午前(1)	9月8日 午前(2)	9月8日 午後(1)	9月8日 午後(2)	9月9日 午前	9月9日 午後(1)	9月9日 午後(2)
A	企業と環境		気候変動(1)		気候変動(2)	生物多様性・ 自然資源管理	気候変動(3)
B	環境政策： 理論分析		環境政策： 実証分析(1)		環境政策： 制度分析	環境政策： 実証分析(2)	水環境政策・ 流域管理
C	廃棄物処理 とリサイクル (1)		エネルギーと 環境		廃棄物処理と リサイクル (2)	廃棄物処理と リサイクル (3)	経済実験
D	都市・交通		企画：日本に おける 2050 年再エネ 100%シナリ オ		再生可能エネ ルギー(1)	企画：再エネ 大量導入時代 の電力システ ム改革ー欧州 の先行事例か ら学ぶ	再生可能エネ ルギー(2)
E	エネルギー： 家計行動と 意思決定		企画：エネ ルギー課税を 巡る環境政策 史ー長期的傾 向と国際比較 の分析から		アジア・途上 国(1)	企画：東アジ アにおける 2050年2℃目 標達成のため の炭素税選択 及び低炭素技 術革新の環 境・経済効果 分析	アジア・途上 国(2)
F	持続可能性 指標		企画：沿岸海 域の生態系サ ービスの経済 評価		ラベリング	企画：グリー ンインフラと 自然環境政策 の経済分析	環境評価
G	農業と食料		企画：高レベ ル放射性廃棄 物(HLW)の 最終処分をめ ぐる社会的受 容性と可逆性		企画：カーボ ンプライシン グの事後評価 と削減のため の制度オプシ ョンの検討	企画：災害の 経済学の構築 に向けて	企画：地域環 境ガバナンス のダイナミク ス
ラウンジ		ポスター					
401				基調講演			

9月8日(土) 午前(1) 9時30分~11時

企業と環境

会場：A (402)

座長：金森絵里 (立命館大学)

1. ビジネスの気候変動対策を促進する国際枠組みにおける規範の進化
○堀史郎 (福岡大学)・修行佐知 (福岡大学)
討論者：亀山康子 (国立環境研究所)
2. Environmental Finance：今後の課題展望に向けた研究分野の整理・体系化
○大田和 哲也 (埼玉大学大学院)・有賀 健高 (埼玉大学)
討論者：石見徹 (流通経済大学)
3. 日本の投資協定における環境配慮
○原嶋洋平 (拓殖大学)
討論者：日野道啓 (鹿児島大学)

環境政策—理論分析—

会場：B (403)

座長：一ノ瀬大輔 (立教大学)

1. Pollution Externalities and Corrective Taxes in a Dynamic Small Open Economy
○中元康裕 (関西大学)・柳瀬明彦 (名古屋大学)
討論者：山口臨太郎 (国立環境研究所)
2. On the Choice of Precaution and Production Level with Endogenous Assets
○一ノ瀬大輔 (立教大学)
討論者：坂上紳 (熊本学園大学)
3. 前向き・後向きシャドー価格と再生可能エネルギー資本
○山口臨太郎 (国立環境研究所)
討論者：大沼あゆみ (慶應義塾大学)

廃棄物処理とリサイクル (1)

会場：C (408)

座長：石村雄一 (京都経済短期大学)

1. マテリアルフローコスト会計のための廃棄物分解分析 (Waste Decomposition Analysis for Material Flow Cost Accounting)
○八木迪幸 (神戸大学)・國部克彦 (神戸大学)
討論者：笹尾俊明 (岩手大学)
2. 廃棄物処理の広域化における費用効率性に関する実証分析
○石村 雄一 (京都経済短期大学)・竹内 憲司 (神戸大学)
討論者：小島理沙 (京都経済短期大学)

3. ダイアリーによる食品ロス削減効果に関する実証研究

○小島理沙（京都経済短期大学）・石川雅紀（神戸大学）・松岡夏子（三菱UFJリサーチ&コンサルティング）・大橋 博一（NPO 法人ごみじゃぱん）

討論者：石村雄一（京都経済短期大学）

都市・交通

会場：D（409）

座長：吉田謙太郎（九州大学）

1. 燃料電池自動車購入における水素ステーション整備状況の影響

○板岡健之（九州大学）

討論者：佐藤真行（神戸大学）

2. 仮想評価法を用いた観光地における無電柱化事業の研究－世界遺産である富岡製糸場を事例として－

○功刀祐之（早稲田大学）・有村俊秀（早稲田大学）・大床太郎（獨協大学）

討論者：吉田謙太郎（九州大学）

3. Can we get used to commute dissatisfaction?

○熊谷惇也（九州大学大学院）・若松美保子（九州大学）・馬奈木俊介（九州大学）

討論者：松本茂（青山学院大学）

エネルギー－家計の行動と意思決定－

会場：E（410）

座長：溝渕健一（松山大学）

1. 家計の省エネ投資の決定要因：冷蔵庫の購入傾向に関する分析

○王佳星（青山学院大学大学院）・杉野誠（山形大学）・松本茂（青山学院大学）

討論者：溝渕健一（松山大学）

2. 照明のLED化は家計の電力消費量をどれくらい削減しているのか？

○尾沼広基（早稲田大学）・松本茂（青山学院大学）・有村俊秀（早稲田大学）

討論者：竹内憲司（神戸大学）

3. Time Rebound Effect in Households' Energy Use: Theory and Evidence

○溝渕健一（松山大学）・山上浩明（成蹊大学）

討論者：星野匡郎（早稲田大学）

持続可能性指標

会場：F（414）

座長：佐藤正弘（東北大学）

1. Roles and Functions of Imaginary Future Generations in Future Design: Evidence from Participatory Deliberation on Public Facility Management

○原圭史郎（大阪大学）・北梶陽子（広島大学）・杉野弘明（東京大学）・吉岡律司（岩手県矢巾町）・武田裕之（大阪大学）・田口聡志（同志社大学）・肥前洋一（高知工科大学）・西條辰義（総合地球環境学研究所、高知工科大学）

討論者：林祥偉（立命館大学）

2. Gridded Inclusive Wealth : Sustainability Measurement in China and Japan

○Bingqi ZHANG (九州大学大学院)・馬奈木俊介 (九州大学)

討論者：田中健太 (武蔵大学)

3. 経済成長に伴う生活満足度と「物・心豊かさ」重視度の変化に関する日中比較分析

○林祥偉 (立命館大学大学院)・周瑋生 (立命館大学)・錢学鵬 (立命館アジア太平洋大学)・仲上健一 (立命館大学)

討論者：佐藤正弘 (東北大学)

農業と食料 会場：G (415)

座長：宮田勉 (中央水産研究所)

1. Consumer perceptions toward seafood produced near the Fukushima nuclear plant

○有賀健高 (埼玉大学)・若松宏樹 (中央水産研究所)

討論者：宮田勉 (中央水産研究所)

2. 子育て世代に着目した市民農園利用実態とニーズ分析 ～食と農の観点から～

○石塚修敬 (東北大学大学院)・井元智子 (東北大学)・澈力格尔 (元 東北大学)・盛田清秀 (公立小松大学)

討論者：若松宏樹 (中央水産研究所)

3. An Analysis of Consumer Preference for the Eco-friendly Agricultural Products : A Case Study of the Natural Farming Products

○夏吾太 (滋賀大学大学院)・田中勝也 (滋賀大学)・西川潮 (金沢大学)

討論者：森晶寿 (京都大学)

9月8日(土) 午前(2) 11時~13時

ポスターセッション ポスター会場(ラウンジ)

1. 草原を維持管理する地元住民の意識 –山梨県旧忍草村を対象として–
○藤野正也(山梨県富士山科学研究所)・小笠原輝(山梨県富士山科学研究所)・大脇淳(山梨県富士山科学研究所)・氏家清和(筑波大学)
 2. 非譲渡性株の各主体配分の不当性はどこまで拡張可能か
○小川健(専修大学)
 3. 電力需供構造の特徴と規制改革の課題について –日中比較を中心に–
○陳拂衣(新潟大学大学院)
 4. Has FDI expanded air pollution in China?
○呂冠宇(早稲田大学大学院)
 5. Negawatt Trading and Energy Efficiency in Adjustment Markets
○庫川幸秀(早稲田大学)・田中誠(経済産業研究所・政策研究大学院大学)
 6. 国内企業の伝統生薬知識を活用した研究開発戦略の比較研究
○野島大輔(九州大学大学院)・藤井秀道(九州大学)
 7. An analysis of the carbon emissions' Environmental Kuznets Curve and its driving factors in China
○Wang, Yuan (Fujian Normal University; Nanjing University; Visiting Professor (2018), Institute of Economic Research, Kyoto University)・Zhang, Chen (Fujian Normal University)・He, Yanmin (Otemon Gakuin University)・Taketani, Masashi (Kyoto University)
 8. The effect of negotiation costs on international environmental agreements: Regional versus global cooperation
○高島伸幸(九州大学)
-

総会 13:00~13:45 【2号館4階401】

9月8日(土) 午後(1) 14時~16時

気候変動(1) 会場:A(402)

座長: 亀山康子(国立環境研究所)

- 2030年及びそれ以降の気候変動戦略 短期・中長期の観点から
○山口光恒(地球環境産業技術研究機構)
討論者: 杉山昌広(東京大学)
- 気候変動緩和策進捗計測指標(C-PPI)を利用したG20メンバー国の対策評価
○亀山康子(国立環境研究所)・高村ゆかり(名古屋大学)・田村堅太郎(地球環境戦略研究機関)・栗山昭久(地球環境戦略研究機関)・有村俊秀(早稲田大学)
討論者: 黒沢厚志(エネルギー総合工学研究所)
- 製造業の価格転嫁傾向を考慮した炭素税の激変緩和措置の制度設計のあり方
○浅川賢司(地球環境戦略研究機関)
討論者: 諸富徹(京都大学)
- 日本の長期気候変動緩和策に関するマルチ・モデル分析 Multi-model analysis of long-term climate change mitigation of Japan
○杉山昌広(東京大学)・藤森真一郎(京都大学)・和田謙一(地球環境産業技術研究機構)・王嘉陽(東京大学)・大城賢(みずほ情報総研)・加藤悦史(エネルギー総合工学研究所)・黒沢厚志(エネルギー総合工学研究所)・小宮山涼一(東京大学)・スィルバ エラン ディエゴ(地球環境戦略研究機関)・藤井康正(東京大学)・松尾雄司(日本エネルギー経済研究所)
討論者: 筒井純一(電力中央研究所)

環境政策-実証分析(1) 会場:B(403)

座長: 一ノ瀬大輔(立教大学)

- Does Small Difference Make a Difference? Impact of Feed-in Tariff on Renewable Power Generation in China
○杜依濛(神戸大学大学院)・竹内 憲司(神戸大学)
討論者: 一ノ瀬大輔(立教大学)
- 表彰は温室効果ガス排出量削減努力を促すか - 都道府県の製造業部門集計データを用いた検証 -
○矢島猶雅(早稲田大学大学院)
討論者: 若林雅代(電力中央研究所)
- Visualization approach and economic incentives toward low carbon practices in households: A survey study in Hyogo, Japan
○Xianbing Liu(地球環境戦略研究機関)・Zhen Jin(地球環境戦略研究機関)
討論者: 矢島猶雅(早稲田大学)
- 2050年温室効果ガス80%削減に向けた日本の炭素税制改革のマクロ経済影響評価
○李秀澈(名城大学)・Unnada Chewprecha(Cambridge Econometrics)・朴勝俊(関西学院大学)
討論者: 加藤真也(岡山商科大学)

エネルギーと環境 会場：C (408)

座長：板岡健之（九州大学）

1. Comparison of Energy Efficiencies and Energy Intensity Efficiency with Traditional Energy Intensity
○Sangmok Kang (Pusan National University)・Minji Kang (Pusan National University)
討論者：馬騰（アジア太平洋研究所）
2. LMDI 分析に基づく日本発電部門の CO2 排出量変動の要因分解
○王嘉陽（東京大学）・杉山昌広（東京大学）
討論者：藤井秀道（九州大学）
3. 「原発ゼロ」により損失する経済的インパクト分析 ―福井県を事例に―
○河津早央里（立命館大学大学院）
討論者：王嘉陽（東京大学）
4. Impacts of fiscal policy on green technologies transfer
○Ambiyah Abdullah (National Institute for Environmental Studies)
討論者：板岡健之（九州大学）

企画：日本における 2050 年再エネ 100%シナリオ Renewable 100% scenario for Japan in 2050

会場：D (409)

座長：明日香壽川（東北大学）

1. 日本における 2050 年再エネ 100%供給シナリオ
○槌屋治紀（株式会社システム技術研究所）
討論者：増井利彦（国立環境研究所）
2. 2050 年にむけたエネルギー消費削減対策シナリオ：省エネ技術普及対策と活動効率化対策、重点分野における技術革新と需給構造変革
○歌川学（産業技術総合研究所）・○外岡豊（埼玉大学名誉教授）
討論者：高瀬香絵（科学技術振興機構）
3. 再生可能エネルギー100%地域の現状と評価
○松原弘直（環境エネルギー政策研究所）
討論者：大島堅一（龍谷大学）

企画：エネルギー課税を巡る環境政策史―長期的傾向と国際比較の分析から― 会場：E (410)

座長：喜多川進（山梨大学）

討論者：朴勝俊（関西学院大学）・古市将人（帝京大学）・伊藤康（千葉商科大学）

1. エネルギー税制の国際的・長期的動向
○佐藤一光（岩手大学）
2. 北欧諸国のエネルギー税制 ―デンマークの炭素税を中心に―
○倉地信太郎（後藤・安田記念東京都市研究所）
3. オランダにおける環境税の導入過程
○島村玲雄（熊本大学）

企画：沿岸海域の生態系サービスの経済評価

会場：F (414)

座長：仲上健一（立命館大学）

討論者：吉田謙太郎（九州大学）・宮永健太郎（京都産業大学）

1. 森・川・里・海の一体的管理 — 宮城県南三陸町の志津川湾を事例として—
○吉岡 泰亮（立命館大学）・小幡 範雄（立命館大学）
2. 瀬戸内海の生態系サービスの経済評価
○太田貴大（長崎大学）
3. 里海の経済価値評価
○高尾克樹（立命館大学）
4. 統合的沿岸域管理：ネットワーク・ガバナンスによる沿岸域の多段階管理仮説
○日高健（近畿大学）

企画：高レベル放射性廃棄物（HLW）の最終処分をめぐる社会的受容性と可逆性

会場：G (415)

座長：松岡俊二（早稲田大学）

討論者：梅木博之（原子力発電環境整備機構）、寿楽浩太（東京電機大学）、森口祐一（東京大学）

1. バックエンド問題における社会的受容性と可逆性：国際的議論から
○松岡俊二（早稲田大学）・井上弦（神奈川県農業技術センター）・Choi Yunhee（早稲田大学大学院）
 2. 社会的受容性と可逆性からみた最終処分法の問題点
○黒川哲志（早稲田大学）・吉田朗（早稲田大学大学院）
 3. 日本における高レベル放射性廃棄物の地層処分政策と社会的受容性
○松本礼史（日本大学）・李洸昊（地球・人間環境フォーラム）
 4. 日本の地層処分研究と技術的受容性
○竹内真司（日本大学）・師岡慎一（早稲田大学）・勝田正文（早稲田大学）
-

9月8日（土）午後（2） 16時15分～17時45分

基調講演

会場：401

“Finance and Conservation: Reducing Risk and Mobilizing Resources”

Professor Amy W. Ando

Department of Agricultural and Consumer Economics, University of Illinois, University of Illinois at Urbana-Champaign. Vice President of Association of Environmental and Resource Economists

9月9日(日) 午前(1) 9時30分～11時30分

気候変動(2) 会場:A(402)

座長:竹内憲司(神戸大学)

1. 中小企業における温暖化対策のバリアについて商工会議所アンケートデータを用いた分析
○若林雅代(早稲田大学大学院)・有村俊秀(早稲田大学)
討論者:八木迪幸(神戸大学)
2. Ambiguity Aversion and Individual Adaptation to Climate Change: Evidence from Farmer Survey in Northeast Thailand
○吉岡渚(東京大学大学院)・横尾英史(国立環境研究所)・Voravee Saengavut(Khon Kaen University)・Siraprapa Bumrungrkit(Khon Kaen University)
討論者:竹内憲司(神戸大学)
3. Extreme Weather Events, Mortality, and Energy Prices: A Natural Experiment from Japan
○内田真輔(名古屋市立大学)・Veronesi, Marcella(Department of Economics, University of Verona)
討論者:堀江哲也(上智大学)

環境政策-制度分析- 会場:B(403)

座長:李秀澈(名城大学)

1. 中国における炭素排出権取引制度パイロット事業の現状と評価 The Analysis and Evaluation of Carbon Emission Trading Pilot Project in China
○LING YISHU(立命館大学大学院)・ZHOU LUMIN(立命館大学)・周瑋生(立命館大学)・銭学鵬(立命館アジア太平洋大学)・仲上健一(立命館大学)
討論者: 李秀澈 名城大学
2. 環境政策における法の一貫性の課題について欧州エコデザイン指令の事例から Legislative Coherence in EU Environmental Policy
○大木孝拓(ミュンヘン工科大学大学院)
討論者:高橋若菜(宇都宮大学)
3. トランスディシプリナリアプローチによる水・エネルギー・食料ネクサスの解決-別府における将来シナリオづくり-
○馬場健司(東京都市大学)・増原直樹(総合地球環境学研究所)・遠藤愛子(総合地球環境学研究所)
討論者:松下和夫(地球環境戦略研究機関)

廃棄物処理とリサイクル(2) 会場:C(408)

座長:大堀秀一(関西大学)

1. Does the financial responsibility of producers for waste disposal gives correct signal for design for environment?
○細田衛士(慶應義塾大学)
討論者:石川雅紀(神戸大学)

2. Cost Efficiency of Recycling and Waste Disposal in Japan

○本間聡（東海大学）・Jin-Li Hu（国立交通大学）

討論者：細田衛士（慶應義塾大学）

3. Deposit-Refund Systems for Durable Products

○大堀秀一（関西大学）・紀國洋（立命館大学）・友田康信（広島大学）

討論者：沼田大輔（福島大学）

再生可能エネルギー（1） 会場：D（409）

座長：Myunghun Lee（Inha University, Korea）

1. Drivers and barriers identifications of mini-hydro power technologies transfers in Indonesia

Ambiyah Abdullah（National Institute for Environmental Studies）・○Masachika Suzuki（Sophia University）・Norichika Kanie（Keio University）

討論者：陳奕均（京都大学）

2. Taiwan's Nuclear Power Phase-out Decision-Making Process During the Energy Transition Pathway: From a Multi-level Perspective

○陳奕均（京都大学大学院）

討論者：松川勇（武蔵大学）

3. A Study on Performance Analysis of Renewable Energy Power Generation in Korea: A Restricted Cost Approach

○Myunghun Lee（Inha University, Korea）

討論者：中山琢夫（京都大学）

4. Explaining National R&D Effects on Renewable Energy: Evidence from 33 OECD Countries

○Yonghun Jung（Korea University）・Seong-Hoon Lee（Korea University）

討論者：Ambiyah Abdullah（National Institute for Environmental Studies）

アジア途上国（1） 会場：E（410）

座長：新熊隆嘉（関西大学）

1. Transparency and Natural Resource in Sub-Saharan Africa

岡田啓介（関西大学）・○新熊隆嘉（関西大学）

討論者：金子慎治（広島大学）

2. インドの大気汚染による呼吸器疾患への影響

○野村魁（東北大学大学院）・佐藤宇樹（東北大学）・松田安昌（東北大学）・日引聡（東北大学）

討論者：高橋遼（早稲田大学）

3. タイにおける洪水発生頻度と社会経済的特性

○白川博章（名古屋大学）・Weerakaset Suanpaga（Kasetsart University）・Pechrida Pechkong（Kasetsart University）

討論者：堀江進也（神戸大学）

ラベリング

会場：F (414)

座長：栗山浩一（京都大学）

1. 企業の社会的責任に対する消費者の評価 – 有機栽培原材料の使用と従業員の長時間労働に関する考察 –

○中野牧子（名古屋大学）

討論者：西谷公孝（神戸大学）

2. 消費者選好ネットワークのスケールフリー性とグリーンコンシューマー

○佐藤正弘（東北大学）・仲山紘史（InterGreen Research Institute）

討論者：鶴見哲也（南山大学）

3. The effect of specific knowledge of fish stocks on the willingness to pay for ecolabelled seafood: a choice experiment in Japan

○若松美保子（九州大学）・馬奈木俊介（九州大学）

討論者：栗山浩一（京都大学）

企画：カーボンプライシングの事後評価と削減のための制度オプションの検討

会場：G (415)

座長：有村俊秀（早稲田大学）

討論者：小宮山涼一（東京大学）・大塚直（早稲田大学）

1. 電力システムの広域化とカーボンプライシング地域間次世代エネルギーシステム分析用産業連関表に基づく考察

○鷺津明由（早稲田大学）・中野諭（労働政策研究・研修機構）

2. 埼玉県における排出量取引制度とその成果 – 第1削減計画期間に関する分析 –

○浜本光紹（獨協大学）

3. 応用一般均衡モデルによる日本の環境税制改革の分析

○武田史郎（京都産業大学）・有村俊秀（早稲田大学）

4. カーボンプライシングによる価格効果の事後評価に向けたカーボンプライシングの定義の再検討

○昔宣希（地球環境戦略研究機関）

会長講演・授賞式

12：30～13：25 【2号館4階401】

9月9日(日)午後(1) 13時35分～15時35分

生物多様性・自然資源管理 会場：A (402)

座長：高橋卓也 (滋賀県立大学)

1. いわゆるパピーミル (大型繁殖業者) 規制に係る一考察 米国法およびカナダ法比較による検討
○神山智美 (富山大学)
討論者：箕輪さくら (上智大学大学院)
2. 農山村において森林に関わる幸福度に影響を及ぼす要因の実証的検討：滋賀県野洲川上流域を対象として
○高橋卓也 (滋賀県立大学)・石橋弘之 (総合地球環境学研究所)・内田由紀子 (京都大学)・奥田昇 (総合地球環境学研究所)
討論者：功刀祐之 (早稲田大学)
3. 木材関連企業の合法木材関連法制度への対応
○百村帝彦 (九州大学)
討論者：高橋卓也 (滋賀県立大学)
4. Milieux and Capability Deteriorated by the Fukushima Nuclear Disasters
○佐藤公敏 (尚絅学院大学)
討論者：赤尾健一 (早稲田大学)

環境政策－実証分析(2)－ 会場：B (403)

座長：明日香壽川 (東北大学)

1. Revealing the Role of Emission Trading in Optimal Technology Choices and Waste Co-Processing Promotion: Cement Industry in China
○JU Yiyi (Nagoya University, Graduate School of International Development)
討論者：杉野誠 (山形大学)
2. 社会的費用論アプローチによる福島原発事故被害の分析
○藤原遥 (一橋大学大学院)・大島堅一 (龍谷大学)
討論者：寺西俊一 (一橋大学)
3. 中国におけるCO2排出量の推計と考察－エネルギー地域間移動に包含されるCO2に関する実証的研究－
○李翔宇 (同志社大学大学院)
討論者：藤川清史 (名古屋大学)

廃棄物処理とリサイクル(3) 会場：C (408)

座長：吉田綾 (国立環境研究所)

1. 容器包装リサイクル再考－ベルギーFost Plusの事例からの示唆－
○笹尾俊明 (岩手大学)
討論者：沼田大輔 (福島大学)

2. アジア新興国における家電リサイクル法の類型化とタイ法案

○佐々木創（中央大学）

討論者：吉田綾（国立環境研究所）

3. Is Incineration Replacing Recycling?

○山本雅資（富山大学）・Thomas Kinnaman（Bucknell University）

討論者：横尾英史（国立環境研究所）

企画：再エネ大量導入時代の電力システム改革 – 欧州の先行事例から学ぶ – 会場：D（409）

座長：諸富徹（京都大学）

討論者：八田達夫（アジア成長研究所）・古澤健（電力中央研究所）

1. 電力市場に分散型電力と柔軟性を供給する VPP(バーチャル発電所)

○中山琢夫（京都大学）

2. 成熟した電力市場のメカニズムと発展経緯 – 北欧の電力市場 Nord Pool を例に –

○小川祐貴（株式会社イー・コンサル）

3. 柔軟な電力市場の構築 – デンマークとドイツの電力市場制度の比較分析 –

○東愛子（尚絅学院大学）

4. 欧州の電力市場結合と国際連系線の活用

○杉本康太（京都大学大学院）

企画：東アジアにおける 2050 年 2°C 目標達成のための炭素税選択及び低炭素技術革新の環境・経済効果分析：E3ME-FTT ボトムアップ技術選択モデルを用いた分析

座長：座長：李秀澈（名城大学） 会場：E（410）

討論者：武田史郎（京都産業大学）・Jeong-in Kim (Chung-ang University, Korea)

1. Economic and Environmental impacts of carbon taxes in East Asia by carbon taxes to meet the 2050 2°C targets: An analysis using E3ME-FTT model

○Hector Pollitt (Cambridge Econometrics) ・ Soochool Lee (Meijo University) ・ Park Seung-Joon (Kanseigakuin University) ・ Taeyeoun Lee (Ryukoku University) ・ Unnada Chewpreecha (Cambridge Econometrics)

2. Decarbonizing the East Asian steel industry in 2050: An analysis performed with FTT(Future Technology Transformation)-Steel model

○Pim Vercoolen (Radboud University) ・ Soochool Lee (Meijo University) ・ Sunhee Suk (IGES) ・ Yanmin He (Otemongakuin University) ・ Fujikawa Kiyoshi (Nagoya University) ・ Aileen Lam (The University of Macao) ・ Jean-François Mercure (Radboud University) ・ Florian Knobloch (Radboud University)

3. Policies and predictions for a low-carbon transition by 2050 in passenger vehicles in East Asia: Based on an analysis using the E3ME-FTT model

○Aileen Lam (The University of Macao) ・ Soochool Lee (Meijo University) ・ Jean-François Mercure (Radboud University) ・ Yongsung Cho (Korea University) ・ Chun-Hsu Lin (Chung-Hua Institution for Economic Research) ・ Hector Pollitt (Cambridge Econometrics) ・ Unnada Chewpreecha (Cambridge Econometrics) ・ Sophie Billington (Cambridge Econometrics)

4. Decarbonisation of building sectors in East Asia until 2050: A simulation of decarbonisation policies using FTT:Heat model

○Florian Knobloch (Radboud University)・Unnada Chewpreecha (Cambridge Econometrics)・Songhee Kim (Energy Economy Institute, Japan)・Yanmin He (Otemongakuin University)・Li-chun Chen (Yamaguchi University)・Jean-François Mercure (Radboud University)・Soocheol Lee (Meijo University)

企画：グリーンインフラと自然環境施策の経済分析 会場：F (414)

座長：大沼あゆみ (慶應義塾大学)

討論者：西田貴明 (三菱UFJ リサーチ&コンサルティング)・吉田謙太郎 (九州大学)

1. グリーンインフラは土地利用に関する合意形成を複雑化させるか 二つの選択型実験の結果を踏まえて
○金慧隣 (北海道大学大学院)・庄子康 (北海道大学)・柘植隆宏 (甲南大学)・久保雄広 (国立環境研究所)・中村太士 (北海道大学)
2. 部分プロファイル選択実験による森林の生態系サービスの経済評価
庄子康 (北海道大学)・○柘植隆宏 (甲南大学)・久保雄広 (国立環境研究所)・今村航平 (東京大学)・栗山浩一 (京都大学)
3. グリーンインフラの経済学的特徴と意義
○大沼あゆみ (慶應義塾大学)
4. 自然環境施策の評価手法とグリーンインフラへの適用可能性
○栗山浩一 (京都大学)

企画：災害の経済学の構築に向けて 会場：G (415)

座長：堀江進也 (神戸大学)

1. 阪神・淡路大震災と東日本大震災の長期的経済被害の推計
○萩原泰治 (神戸大学)・堀江進也 (神戸大学)・菱田鷹杜 (日産自動車株式会社)
討論者：尾沼広基 (早稲田大学)
 2. 阪神・淡路大震災後の被災者の生活再建の推移の考察
○堀江進也 (神戸大学)・地主敏樹 (神戸大学)・萩原泰治 (神戸大学)
討論者：勇上和史 (神戸大学)
 3. 熊本地震被災者の地震保険購入行動の決定要因の分析
堀江進也 (神戸大学)・○佐藤純恵 (神戸大学)
討論者：豊田利久 (神戸大学)
-

9月9日(日)午後(2) 15時45分~17時45分

気候変動(3)

会場:A(402)

座長:李秀澈(名城大学)

1. 長期低炭素ビジョン実現に向けたグリーン税制改革試案

○小嶋公史(地球環境戦略研究機関)・李秀澈(名城大学)・Unnada Chewpreecha(Cambridge Econometrics)・浅川賢司(地球環境戦略研究機関)・昔宣希(地球環境戦略研究機関)

討論者:武田史郎(京都産業大学)

2. The macroeconomic impacts of stranded fossil fuel assets

○J.-F. Mercure(Radboud University)・H. Pollitt(Cambridge Econometrics)・J. E. Viñuales(University of Cambridge)・N. R. Edwards(The Open University)・P. B. Holden(The Open University)・U. Chewpreecha(Cambridge Econometrics)・P. Salas(University of Cambridge)・I. Sognnaes(University of Cambridge)・A. Lam(The University of Macao)・F. Knobloch(Radboud University)・Soocheol Lee(Meijo University)

討論者:小嶋公史(IGES)

3. カーボンプライシングによる産業への短期的な影響

○杉野誠(山形大学)

討論者:渡邊隆俊(愛知学院大学)

水環境政策・流域管理

会場:B(403)

座長:黒沢厚志(エネルギー総合工学研究所)

1. 水道水の濁度管理からみた流域連携政策の効果

○柳橋泰生(福岡大学)・楊露(福岡大学)

討論者:梶原健嗣(愛国学園大学)

2. 世界水需給と持続可能性に関する一考察

○黒沢厚志(エネルギー総合工学研究所)・加藤悦史(エネルギー総合工学研究所)

討論者:高橋潔(国立環境研究所)

3. 戦後ダム開発と第4類型 - 第4類型に正当性はあるのか -

○梶原健嗣(愛国学園大学)

討論者:大森正之(明治大学)

経済実験

会場:C(408)

座長:田中健太(武蔵大学)

1. 公衆衛生改善のための説得的コミュニケーション・ツールの開発と評価:インドネシアにおけるランダム化フィールド実験からのエビデンス

○横尾英史(国立環境研究所)・原田徹也(国際協力機構)

討論者:寫田栄樹(京都大学)

2. 資源枯渇経験の時間選好率に与える影響 – フィリピンの漁業者を対象としたフィールド実験による分析 –
○田中健太（武蔵大学）・東田啓作（関西学院大学）・Arvin Vista（University of the Philippines Los Baños）
討論者：若松宏樹（中央水産研究所）
3. When do consumers stand up for the environment? Evidence from a nation-wide social experiment to promote environmentally friendly coffee
○高橋遼（早稲田大学）
討論者：田中健太（武蔵大学）

再生可能エネルギー（2） 会場：D（409）

座長：安田陽（京都大学）

1. 営農型太陽光発電の遮光率に関する実証的分析
○野津喬（実践女子大学）
討論者：森則之（新エネルギー・産業技術総合開発機構）
2. 再エネ電力供給が日本卸電力市場に与える影響に関する研究 Renewable Energy and Spot Prices: Empirical Evidence from the Japan Electricity Market
○馬騰（アジア太平洋研究所）・徐涛（神戸大学）
討論者：中山琢夫（京都大学）
3. 京都議定書が再生可能エネルギー技術の国際特許出願に与えた影響
○宮本舞（神戸大学）・竹内憲司（神戸大学）
討論者：藤井秀道（九州大学）
4. 新規技術参入障壁としての送電線空容量問題
○安田陽（京都大学）
討論者：竹濱朝美（立命館大学）

アジア・途上国（2） 会場：E（410）

座長：松岡俊二（早稲田大学）

1. 中国におけるエネルギー・自動車の構造革命と対策革命の実践と展望
○李志東（長岡技術科学大学）
討論者：周璋生（立命館大学）
2. 中国の生活部門が大気汚染に与える影響
○朱美華（アジア大気汚染研究センター）・山下研（アジア大気汚染研究センター）
討論者：李志東（長岡技術科学大学）
3. 自然災害が国際貿易に与える影響に関する実証分析：東南アジアを対象として
○天島華織（神戸大学大学院）・竹内憲司（神戸大学）
討論者：籠橋一輝（南山大学）

環境評価 会場：F (414)

座長：村上佳世（京都大学）

1. Three New Evidences of Environmental Preference in the Japanese New Car Market

○二荒麟（内閣府）・細田衛士（慶應義塾大学）・星野崇宏（慶應義塾大学）

討論者：星野匡郎（早稲田大学）

2. EV シフトに向けた日本の消費者選好の実証分析 —ベスト・ワースト・スケーリングの適用—

○吉田謙太郎（九州大学）・安可（長崎大学）

討論者： 村上佳世 京都大学

3. ベスト・ワースト・スケーリングによる森林生態系サービスに対する選好の把握

柘植隆宏（甲南大学）・○庄子康（北海道大学）・久保雄広（国立環境研究所）・今村航平（東京大学）・栗山浩一（京都大学）

討論者：藤野正也（山梨県富士山科学研究所）

4. Toward promoting Toyota City's eco-policy

○伊藤博（名古屋商科大学）・川副延生（名古屋商科大学）

討論者：二荒麟（内閣府）

企画：地域環境ガバナンスのダイナミクス 会場：G (415)

座長：八木信一（九州大学）

討論者：大野智彦（金沢大学）・新川達郎（同志社大学）

1. 公害被害地域における環境再生と移行ガバナンス —栃木県足尾町と富山県神通川流域の事例を中心に—

○関耕平（島根大学）

2. 生物多様性保全における順応的ガバナンスの可能性 —琵琶湖における侵略的外来水生植物対策のケースから—

○宮永健太郎（京都産業大学）

3. 再生可能エネルギーのメタガバナンス —長野県飯田市を事例として—

○八木信一（九州大学）